

設 立 趣 旨 書

世界の難民は2018年末7080万人を超え、毎年増加の傾向にあります。日本にも、迫害から逃れて来日する難民が増加しています。しかし、来日間もない難民に対して、日本政府からの支援は限定的で、市民団体や市民の人道的な支援で生活をせざるを得ない状況が続いています。支援に繋がるまでの間、路上生活を余儀なくされている難民も数多くいます。

難民認定申請手続には、数年かかり、その間、難民は、精神的にも、経済的にも、法的にも不安定な状態に置かれています。難民認定申請手続中に、母国での迫害の傷を癒し、認定後、地域社会へ定住するため日本文化の理解、日本語の習得、自立に向けた様々な支援が不可欠です。

市民社会、諸団体と連携し、迫害から逃れて来日した難民を暖かく日本社会に迎え、来日した難民に対して、情報提供、難民認定手続き支援、定住支援を提供し、難民が自立して日本社会で生活し、地域社会とつながり、寛容性と多様性にあふれた多民族・多文化共生社会づくりに寄与することを目指します。

以上の活動を効果的に、永続的に続けるためには、個人が代表とする任意団体での運営は、活動水準、予算規模、参加人数など対応が困難だと考えます。私たちは、NPO法人としての認証を得て、定期的な総会の実施や法令等で定められた書類の作成、提出、一般市民への情報公開等を適切に行うことで社会的認知度を高め、社会的責務をはたしていこうと考えます。

2019年10月23日

法人の名称 NPO法人 アルペなんみんセンター

設立代表者 榎川勝也